

# 福島大学のF-REIに向けた研究の取組とこれから

## 東日本大震災



東日本大震災から12年が経過も、いまだ県内外に約2.7万人の避難者、風評被害、県内からの人口流出等、課題は継続している。

## 復旧段階

## 復興段階

## 福島国際研究教育機構への参画

### 食農学類創設

福島県民の要望に応え農業再生を目的に設置食と農業の未来を切り拓く

### 発酵醸造研究所

食農学類に高付加価値をつけるとともに、医学や工学にも結びつける

### うつくしまふくしま未来支援センター (FURE)

- ・子ども・若者支援部門
- ・復興計画支援部門
- ・環境エネルギー部門
- ・企画・コーディネート部門

### 地域未来デザインセンター (CFDC)

ふくしまの幸福度を高めるための、地域のイノベーションオフィスを目指して、自治体や企業との高度な連携を模索 復興支援機能の継続

### 有志教員による福島県内の線量調査

### 環境放射能研究所 (IER)

- ・国内外との研究機関と連携
- ・6つの研究プロジェクト

### 水素エネルギー総合研究所

水素エネルギーを中心とした再生可能エネルギーの研究と社会実装、人材の育成

### 廃炉人材育成プロジェクト

国内外の英知を結集し、原発の廃炉に向けた研究開発と人材育成を開始

### SATREPS

チェルノブイリ原発事故に関するウクライナとの共同研究事業

### 福島大学ミッション2030

#### 地域とともに21世紀的課題に立ち向かう大学

### 福島イノベーション・コースト復興知事業採択

「復興農学会」を立ち上げ、農業再生研究のリーダーシップ 研究者・農業従事者・学生をつなぎ、標準郡の復興をめざす

### F-REI先行研究採択

ロボット分野と農業分野で先行研究採択 「復興農学会」を立ち上げ、農業再生研究のリーダーシップ 研究者・農業従事者・学生をつなぎ、標準郡の復興をめざす

### foR-F/Aプロジェクト

地域課題解決を目指す研究に対し大学が支援 「地域交通」「ロボット」「農業再生」「再生可能エネルギー」「計測技術開発」など

### 第1分野

ロボット・ドローン

湖沼、森林内などでの調査に対応するロボット・ドローンの研究開発 (代表: 共生システム理工学類教授・高橋隆行)

### 第2分野

農林水産研究の推進

- 小中規模パイプハウスに適した自然エネルギーを利用した環境制御技術体系の構築と栽培実証 (代表: 食農学類教授・深山陽子)
- 福島浜通地域等の農林水産業の未来デザイン (代表: 食農学類教授・小山良太)
- 土壌低分子有機物の植物栄養学的影響の解明 (代表: 食農学類教授・二瓶直登)
- 輸出対応型果樹生産技術の開発・実証 (幹事: 農研機構、本学代表: 食農学類准教授・高田大輔)
- 化学肥料・化学農業に頼らない耕畜連携に資する技術の開発・実証 (幹事: 東北大学、本学代表: 食農学類准教授・窪田陽介)
- 未利用資源等からのセルロースの低コスト抽出とプラスチック代替新素材としての活用 (幹事: 東北大学、本学代表: 食農学類教授・松田幹)

### 第3分野

ネガティブエミッションのコア技術

- 浜通り地域の資源を利活用した高効率・循環型ネガティブエミッション・治山視聴システム (代表: 共生システム理工学類教授・浅田隆志)
- 福島発ネガティブエミッション農業実現に向けた水稲のCO2固定機能強化技術の開発 (幹事: 岡山大学、本学代表: 食農学類発酵醸造研究所特任助教・菅波真央)

### 第5分野

原子力災害からの復興施策立案

- 水産業における放射能汚染対策の検証と安全性評価・風評対策にもとづく福島県漁業の持続的産地形成に関する研究 (代表: 環境放射能研究所教授・和田敏裕)
- 福島浜通地域のけるまちづくり研究 (幹事: 東北大学、本学代表: 共生システム理工学類教授・川崎良太)
- 原子力災害医療科学分野における福島の知見の集積と国内外への情報発信 (幹事: 長崎大学、本学代表: 環境放射能研究所教授・難波謙二)